

ふりがな 氏名	だいどう かな 大道 加奈	都道府県	岡山県	
所属/肩書	岡山大学教育学部学校教育教員養成課程中学校英語専攻			
私のESD活動	教育分野でのESD活動を行っている。具体的には、高校生のESD学習を身近な立場としてサポートしている			

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

私は2014年に行われたユネスコスクール世界会議とそれに伴う準備セミナー等において大学生スタッフリーダーとして運営サポートを務めました。会議の準備段階では高校生が世界会議本番において世界各国の高校生と共創的に議論ができるよう、受付や海外ゲストのアテンド、議長団など高校生のそれぞれの運営準備をサポートしました。特に、海外ゲストアテンドに関しては、文化的多様性や価値観の多様性についての理解を重視しアテンドを行うことができるようサポートに徹しました。世界会議本番では世界中から集まった高校生との2日間に渡る議論が複数の観点から行われ、宣言文の採択が協働して行われました。世界会議を通して得られた高校生の学びを持続的なものにするため、その後も引き続き行われたESD研修会にて高校生の学びのサポーターとして活動しています。またその他にも、東北大震災の被災地である気仙沼や陸前高田などを訪れ、防災の観点から実地研修を行いました。現地では防災教育が災害において非常に重要であることや、地域間でのつながりが被害を最小限に抑えるに当たって欠かせないということを学びました。大学3年次には奈良教育大学の学生と共同してエコの観点からのESD活動として古着交換を行うイベントを実施しました。またフィールドワークとして奈良の世界遺産を巡り文化保護の観点から持続可能性について研究しました。これらの活動を通して得た経験と知識を将来の教員生活において活かし、持続可能な社会の担い手の育成に積極的に取り組みたいと思っています。

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？またESD全体（地域や日本国内、国際）の発展にどのように貢献したいと思いますか？

これまでの経験を生かし、今後は教員として生徒のESD活動をサポートしていきたいと考えています。具体的には、地域の文化や伝統についての学習や、地域が抱える諸問題の把握とそれに伴う活動を計画・実行し、生徒の学びを深めていきたいと考えます。地元岡山県民としてのアイデンティティを持ち、積極的に地域や社会への貢献活動が実践できるような人材の育成に努めていきたいです。また自身の留学経験を生かし、グローバル化に伴う文化多様性や多文化共生についての理解と受容を生徒が出来るよう日々の教育活動において学習活動を取り入れていきたいです。そのために、世界の様々な国の人々の交流を可能とする場の提供やイベントの企画を積極的に行っていきます。これらの活動を通して生徒一人一人が身近に存在する課題に気づき、その課題に積極的に対処しようとする姿勢や異なった価値観をもつ人々と共生していく姿勢を育成できると考えています。そして結果的に、これらの活動が未来の社会の担い手の育成につながり持続可能な社会の担い手づくりに貢献できると考えています。